



七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校

No. 18

平成23年 6月 1日

お礼のメッセージを送りました



『七校便り 17号』でお知らせしたように、4月27日に石川県立加賀聖城高校から、東日本大震災へのお見舞いと激励の寄せ書きと千羽鶴が、本校に届きました。生徒は感謝の気持ちを伝えようと、全員で歌った校歌のCDと、一人ひとりがそれぞれ書いたメッセージカードを、加賀聖城高校に送りました。その中の4枚を掲載しました。添えられた写真は、七ヶ宿の自然を撮影したものです。同じ定時

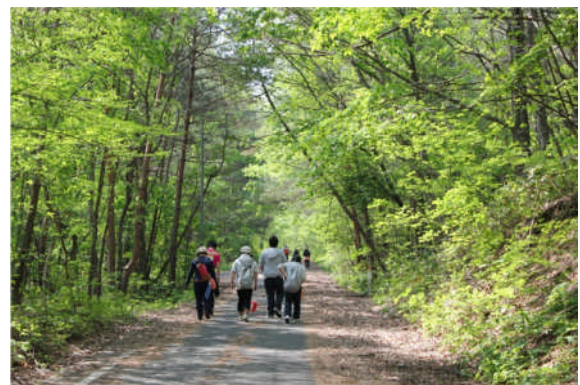
制高校に通う仲間からの激励が、生徒達の心に確かに響いたことが分かります。

後日、加賀聖城高校の教頭先生から、次のようなメールをいただきました。

とても素晴らしい風景のなかに皆さんの学校があるんですね。生徒さん一人ひとりの心温まるメッセージのカードをいただき、わたしたちの方こそ元気をもらいました。本当にありがとうございました。

5月20日(金) 晴れ!

本校恒例の遠足が、5月20日に行われました。当日は朝から晴れ渡り、日中の気温が30度近くまで上がりました。全員が元気に傾城森に登り、「あなたとわたしの焼き肉広場」で班ごとに思い思いの料理を食べ、初夏の遠足を楽しみました。



《生徒の作文から》

「遠足」

2年 佐藤 佑香（角田中出身）

五月二十日（金曜日）に、遠足という行事がありました。初めに朝学校に着いて先生方や校長先生の話聞いて出発しました。私は倫子ちゃんと一緒に行きました。去年と同じコースを上って、ゴツゴツじゃなかったのに地震があって、その山がすごく崩れていて、足の踏み場がとても大変でした。去年も足がすごく痛くて、今年も足が同じくすごく痛くなりました。すべりやすく怖かったけど、怪我をしなかったのがよかったと思いました。やっと着いてみんなと話しました。そして焼き肉や焼きそばを作ったり、焼き鳥を焼いたりして食べました。やる場所はちょっと危なかったけどみんな協力してちゃんとできたし良かったと思いました。焼きそばはちょっとコゲたけど、みんなが美味しい美味しいと言っていたので、とてもよかったです。山は去年よりも変わっていて驚きました。前はあんな風じゃなかったのについて思いました。三月十一日の地震で色んな所が変わって本当に最悪でした。でもやっぱり去年と同じく楽しくみんなと協力でき仲良くできたと思いました。来年も同じようにしたいと思います。



「ラスト遠足」

3年 大浦 正史（小原中出身）

私は班長でした。5班の班長でした。

私の班は焼きそばと焼き肉をしました。私達は学校から焼き肉をする場所まで歩いて行きました。その中の出来事を書きます。

私が買って来た荷物をある人にとって貰っていたのですが、学校から少しずつ歩いていたら、後の方から私の名前を呼ぶ声が聞こえてきました。何だと思って待っていたら、

「荷物くらい自分で持て。」と、ある一人の先生に言われ、自分で荷物を持つようになってしまいました。

でも、また少し歩いていたら、優しい一人の男性（注；同級生）が、「俺が持ってやる。」と言って、持ってくれました。でも、その人も最初の内は走っていましたが、段々歩き始めて、とうとう歩くのも止めてしまいました。

また私のもとにバッグが戻ってきました。また少し歩いていると、一人の勇気あるご老人（注；担任の先生）が、「半分持ってあげる。」と言ってくれて、私は助かりました。それから少し歩いたら、「傾城森に登ろう」とある一人の男性が言ってきて、でも私はそんなに登りたい気分ではありませんでした。でも、最後の思い出に登る事にしました。登って写真を撮るだけだったので、意外と楽でした。

それから山を下りて、焼き肉をする場所に行き、火をおこしたりしました。火がおきたので、焼きそばから作り始めました。その後肉を焼いたりして、美味しく食べました。すごく楽しかったです。

来年は今の二年生たちが班長なので、頑張ってもらいたいと思いました。

